<熊本支部例会事前抄録>

日時：2026 年 11 月 10 日(火)19:30～
会場：添島歯科クリニック研修室

－ 一般講演抄録 2 －

前歯部欠損における IOD 補綴の有用性～マグネットのアドバンテージ～

小坪義博
こつぼ歯科

抄録
歯科補綴治療において機能の回復は最重要課題であるが，前歯部においては審美性の獲得が次なる命題となってくる．歯牙が残っている場合には，正確な支台歯形成を心がけることで十分なクオリティの補綴装置を装着できると思われるが，何らかの理由で歯牙の欠損を伴っていれば，補綴処置は難しくなる．
インプラントによる補綴処置は非常に優れた治療法であるが，同時に難しさも伴う．欠損部位の環境が整っていれば問題に見舞われることは少ないが，歯槽骨や粘膜の状態，咬合関係，隣在歯の形態や修復処置の有無など総合的な診断のもとに治療を進めなければ思わぬトラブルに見舞われることとなる．また，術者の熟練度によっても治療結果に違いがでてくることが考えられる．
インプラント補綴治療で対応するには難易度が高いと考えられる症例では，IOD 義歯よる治療法を選択したほうが，患者にとっても術者にとっても負担が少ないように考える．もし何らかのトラブルが発生したとしても，対処しやすいはずである．
今回、症例を通して考察していく。